石巻支所復興だより
復興庁 Reconstruction Agency 新たなステージ　復興・創生へ
令和２年３月23日 No. 6
宮城復興局　石巻支所

竹あかりで聖火お迎え

ギリシャ・アテネで採火された聖火が日本で最初に訪れる東松島市において、到着前日の3月19日、「竹あかりの街　奥松島プロジェクト」が主催し、市内4カ所で竹あかりをともす聖火お迎えのイベントが行われました。

奥松島LANE HOTEL前

東松島市では、東日本大震災でお亡くなりになられた方々、行方不明になられた方々が1,133名おられますが、鎮魂の祈りを込め、同じ数の竹あかりがともされました。

今回のイベントの発起人である貴凛庁株式会社の三井紀代子代表取締役は、『3月20日は東松島市の歴史に残る1日となる聖火がこの街に到着するということで、復興を遂げたこの街から、日本全国・世界各国に感謝の意味を込めてこの竹あかりで1,133名の御霊とともにお迎えできればと想い、地域の大勢の方々・民間企業の方々が一緒になって作製しました。』と語られていました。

蔵しっくパーク前

また、会場の一つとなった東松島市震災復興伝承館内では、国内外から寄せられた折り鶴をポリエステル樹脂製の立体アートとして未来に残す「折り鶴のメモリアルアート」作品も展示されました。

東日本大震災慰霊碑前

東松島市震災復興伝承館内「折り鶴のメモリアルアート」